編集後記

2020年1月

新年明けましておめでとうございます。

昨年は5月1日の皇位継承により，令和が始まり，新しい時代の幕開けとなりました。年が明けて2020年には，東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。1964年以来のおよそ50年ぶりのイベントです。前回のメインスタジアムだった国立競技場は立て直され，2019年12月15日に竣工式が行われました。観戦チケットの二次募集もすでに終わっています。都内は新しいホテルやオフィスビルの建築が進み，山手線の高輪ゲートウェイ駅や地下鉄日比谷線の虎ノ門ヒルズ駅などの新駅が建設されています。お台場を中心とした東京ベイゾーンには，たくさんのタワーマンション風の建物が立ち並び，さまざまな競技施設が建築中です。東京全体がオリンピック・パラリンピックに向かっていることを実感します。

オリンピック・パラリンピックが近づくにつれ，都心では中国，韓国をはじめとする東アジアだけでなく，欧米人を含めた外国人を多数見かけるようになりました。インバウンドという言葉をよく耳にしますが，旅行者だけでなく，日本に在住している方も増えています。筆者の勤務する病院でも毎日何人かは外国人で，英会話の練習のような外来診療を行っています。大学から派遣されている若手の診療を横で聞いていると，英語で意思疎通がしっかりとれていて，最近の先生方は大したものです。

一方で，海外と都内市中病院の距離が短くなったためか，輸入感染症などへの注意も必要となってきました。昨年の冬に不明熱で受診した患者はインド，シンガポール，台湾などを旅行して帰国後発熱し，数日後に内科を受診した際に皮疹があり，皮膚科紹介となったのですが，white islands in red seaがあったことからデング熱を疑い，感染症内科で調べてもらって確定診断ができました。夏場だったら大ごとになっていたかもしれません。幸いにも日本の冬には媒介する蚊がいないため，伝播についての懸念はありませんでした。最近では，水痘ワクチンの予防接種が行われていない国から来日して水痘を発症した成人女性なども来院されました。幸いにも外国で感染した麻疹の経験はありませんが，皮疹のある発熱患者では常に気をつけています。

今後も国際結婚や海外企業の日本への進出，研修・勉学などでの外国人の日本への訪問や滞在が増えていくものと思われます。医療の国際化は，皮膚科医に学びの機会を与えてくれているのかもしれません。

（林　伸和）

—顧　問—

大原國章　大塚藤男

—編集委員—

土田哲也　五十嵐敦之　相馬良直　林　伸和　佐伯秀久

「皮膚科の臨床」第62巻 第1号 1月号

2020年1月1日発行（毎月1回1日発行）
定　価（本体 2,700 円＋税）

年間購読料金　定価（本体 42,100円＋税）

〔年間13冊（臨時増刊号，増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所　金原出版株式会社
発行者　福村 直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
TEL　03(3811) 7165〔編集室直通〕
TEL　03(3811) 7184〔営業部直通〕
FAX　03(3813) 0288
ホームページ http://www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座　00130-1-191269
印刷所　三報社印刷株式会社　TEL 03(3637)0005
広告申込先 福田商店　TEL 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権，翻訳・翻案権，上映権，譲渡権，公衆送信権（送信可能化権を含む），貸与権，二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は，金原出版株式会社が保有します。
・JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は，そのつど事前に，出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088，FAX：03-5244-5089，E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

2026/09/29 21:58:59